

# ニュースレター No. 40 2015年11月



WNJはワーカーズ・コレクティブの全国組織です

ワーカーズ・コレクティブネットワーク ジャパン

代表 元川ひとみ 〒160-0022 東京都新宿区新宿 6-24-20 KDXビル7F  
TEL 03-3205-0003 FAX 03-3205-3111 Eメール wnj-office@wnj.gr.jp

## メッシーちゃんキャンペーン



WNJ (ワーカーズ・コレクティブ ネットワークジャパン) に集う食関連ワーカーズ・コレクティブでは、2013年にキャッチコピー「いのちをつなぐおいしい食事」と、ゆるキャラ「メッシーちゃん」を生み出しました。

「食べ物の命と大切に育ててくれた生産者の思いを、私たちが心を込めて作ったおいしい食事でも多くの人に伝えたい。それが次の世代にもつながって欲しい。」そんな思いを込めています。さらに今年は食のワーカーズの特長を「つくり手確かな安心素材」「そのひと手間を大切に」「これからもずっと伝えたい味」の3つにまとめて、広く語っていくことにしました。

食のW.Coのブランド化=食のW.Coの価値(大切にしていること・食べる人にとっての意義)がマークを見ただけでイメージできることをめざしています。

キャンペーンでは、ポスター、シール、ちらし、旗などでアピールしています。まだまだ認知度の低いメッシーちゃんですが、北海道から九州までW.Coブランドとして浸透していき、どこに行っても安心して食事ができるマークとして多くの人々が遭遇することを願っています。



メッシーちゃん



## 開催間近!

第12回ワーカーズ・コレクティブ  
全国会議 in 東京

ひとりひとりが大切にされる地域社会  
をつくる Wワーカーズ・コレクティブは  
まちのコーディネーター!

12月5日(土) 13時30分~16時

日本教育会館ホールにて全体会

12月6日(日) 10時~12時30分

明治大学駿河台キャンパス(アカデミーコ  
モン)にて分科会

ワーカーズ・コレクティブ全国会議は2年に一度全国各地で開催しています。今回は東京での開催です。北は北海道から南は熊本までの多くの仲間が集まります。

全体会では、協同組合学会の会長でいらつしやる明治大学商学部柳沢敏勝教授にコーディネーターをお願いし、改めて協同で事業をおこし連携してまちづくりに取り組むことの価値を共有するパネルディスカッションを行います。基調講演として影山知明氏に「カフェからまちをつくる」と題してお話しいたします。(影山氏は2008年、多世代でコミュニティをつくりながら暮らす「持ち寄り型」の集合住宅「マジジュ西国分寺」と、その1階にカフェ、ケルミドコーヒールをオープン。また「地域通貨ぶんじ」など、遊びと共感から始まるまちづくりを続けている。NHK「NEWS WEB」火曜日ナビゲーター。著書に「ゆっくり、いそげ」(大和書房) )

その後、各地のワーカーズ・コレクティブの取り組みを報告し、ディスカッションを進めます。多くの方の参加をお待ちしております。

# 東日本大震災復興支援まつり2015 in 山下公園

11月7日、横浜の山下公園で今年も行われた復興支援まつりにWNJとしてブースを構えました。千葉・東京・A・C・T（アクト）・埼玉の各連合組織のご協力をいただき、J・F・S・A（日本ファイバーリサイクル連帯協議会）のリサイクル衣類、クッキー・パウンドケーキ、ラスク、手作り小物等を販売しました。

天気にも恵まれ、たくさんの方が集まる中、神奈川の皆さんはそれぞれのブースで大忙し、「遊びに来たよ」と愛知からも運営委員のメンバーが顔を見せてくれたり、娘さんやお孫さんたちにも会えた賑やかで楽しい時間を過ごしました。そして、何より被災地の皆さんの元気な笑顔に励まされた一日でした。

些少ではありますが、売り上げの一部は支援カンパとさせていただきます。皆様、お疲れ様でした!!



## 「銀河のほとり」支援活動報告



福島県須賀川市にある自然食レストラン「銀河のほとり」の依頼により、組織運営についてWNJとして支援をおこなっています。「銀河のほとり」は店舗を整え、オープンの日を迎えたのが2011年3月11日でした。震災によりしばらく事業は中断しましたが、4月にはレストランを開店し、肉類を使わない植物性の素材だけで、塩分や油もほとんど使わず調理したランチなどを提供しています。震災からの復興と放射能の影響という困難をかかえながらも、地域が元気になる拠点として、食の提供だけでなく様々なイベント開催や情報発信もされています。

代表の有馬克子さんは、事業継続には、ワーカーズ・コレクティブのような協同経営がふさわしいのでは、と考えWNJに連絡をくださいました。今年7月に、千葉や東京の食関連のワーカーズ・コレクティブを視察され、10月にはWNJから担当者現地へ伺い、メンバーが参加してワークショップ形式で現在の運営状況について意見を出し合いました。より安定した経営に向けて、「銀河のほとり」の皆さんが検討されることをこれからもサポートしていきます。

## 今年も学生インターンシップを受け入れました

立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の3学年の男子学生をインターンシップとしてワーカーズ・コレクティブネットワークジャパン（WNJ）で受け入れました。

実習先は会員組織の中から3団体、「認定NPO法人子育て支援ワーカーズコレクティブみるく」「NPO法人ワーカーズ・コレクティブ風車」「企業組合ワーカーズ・コレクティブ紙ふうせん」で各3日ずつ。また、WNJの運営委員会にも参加して貰いました。

学生からは「各団体や本会議に参加させていただくことで働き方の考えの枠が広がり、とても刺激になった」「インターンシップを通して働き方というよりは生き方を学んだ」「大学で学んできたことはどこか遠い世界の話のようだったが、今回の経験で、学生でも日常の中から疑問を見出し、社会を変えるための力を持っていると感じた」などの感想を頂きました。

わずか10日間の経験からでも成長していく若者のパワーを頼もしく感じました。

